

526

56

關東地方震災
救援團之
福井縣施設概要



始



關東地方震災
救援ニ關スル
福井縣施設概要

126-58

詔書

朕神聖ナル祖宗ノ洪範ヲ紹キ光輝アル國史ノ成跡ニ鑑ミ皇考中興ノ宏謨ヲ繼承シテ肯テ怠ラサラ
ンコトヲ庶幾シ夙夜兢兢業トシテ治ヲ圖リ幸ヒニ祖宗ノ神祐ト國民ノ協力トニ賴リ世界空前ノ大戰
ニ處シ尙克ク小康ヲ保ツヲ得タリ

癸卯圖ラム九月一日ノ激震ハ事咄嗟ニ起リ其ノ震動極メテ峻烈ニシテ家屋ノ潰倒男女ノ慘死幾萬

ノ知ヲ割ヘ火災四方ニ起リテ炎燄天ニ沖リ京濱其ノ他ノ市邑一夜ニシテ焦土ト化ス此ノ間

交通機關杜絶ヲ爲ニ流言蜚語盛ニ傳ハリ人心洶々トシテ倍々其ノ慘害ヲ大ナラシム之ヲ安政當局

ノ震災ニ較レハ寧ロ凄愴ナルヲ想知セシム

朕深ク自ラ戒慎シテ己マサルモ惟フニ天災地變ハ人力ヲ以テ豫防シ難ク只速カニ人事ヲ盡シテ

心ヲ安定スルノ一途アルノミ凡ソ非常ノ秋ニ際シテハ非常ノ果斷ナカルヘカラズ若シ其レ平時ノ

條規ニ膠柱シテ活用スルコトヲ悟ラス緩急其ノ宜ヲ失シテ前後ヲ誤リ或ハ個人若クハ一會社ノ

益保障ノ爲ニ多量ノ災民ノ安回ヲ脅スカ如キアラバ人心動搖シテ抵止スル所ヲ知ラス朕深ク之ヲ憂

惕シ既ニ在朝有司ニ命シ臨機救済ノ途ヲ講セシメ且ツ焦眉ノ急ヲ拯フテ以テ惠撫慈養ノ實ヲ舉ケ

ムト欲ス

抑モ東京ハ帝國ノ首都ニシテ政治經濟ノ樞軸トナリ國民文化ノ源泉トナリテ民衆一般ノ瞻仰スル

大正

13. 4. 15

内交

トコナリ一朝不慮ノ炎害ニ罹リテ今ヤ善形ヲ留メスト雖モ依然トシテ我が國都タルノ地位ヲ失
ハス之ヲ以テ其ノ善後策ハ獨リ舊態ヲ恢復スルニ止ラス進ンテ將來ノ發展ヲ圖リ以テ巷衢ノ面目
ヲ新タニセサル可カラス惟フニ我が忠良ナル國民ハ義勇奉公朕ト共ニ其ノ慶ニ賴ランコトヲ切望
スヘシ之ヲ慮リテ朕ハ宰臣ニ命シ速カニ特殊ノ機關ヲ設定シテ帝都復興ノコトヲ審議調査セシメ
其ノ成案ハ或ハ之ヲ至高顧問ノ府ニ諮ヒ或ハ之ヲ立法ノ府ニ謀リ籌畫經營萬遺憾ナキヲ期セムト
ス
在朝有司克ク朕カ心ヲ心トシ迅ニ災民ノ救護ニ從事シ嚴ニ流言ヲ禁遏シ民心ヲ安定シ一般國民亦
克ク政府ノ施設ヲ翼ケテ奉公ノ誠悃ヲ致シ以テ興國ノ基ヲ固ムヘシ朕千古無比ノ天殃ニ際會シテ
郵民ノ心愈々切ニ寢食爲メニ安カラス爾臣民夫レ克ク朕意ヲ體セヨ

御名御璽

攝政名

大正十二年九月十二日

內閣總理大臣副署

攝政宮御沙汰

九月三日

今回稀有ノ大地震東京及近縣ヲ襲ヒ之ニ加フルニ大火ヲ以テ
シテ其ノ慘害甚タ大ナルハ實ニ國家生民ノ不幸ナリ予ハ其ノ
實況ヲ見聞シテ日夜憂戚シ殊ニ罹災者ノ境遇ニ對シテハ心深
ク之ヲ傷ム茲ニ内帑ヲ願チテ其ノ苦痛ノ情ヲ慰メント欲ス官
民其レ協力シテ適宜應急ノ處置ヲ爲シ以テ遺憾ナキヲ期セヨ

閣議官報

八月三日

東京及近縣ニ互レル今次ノ震災ハ件フニ大火災ヲ以テシ慘害ノ甚シキ言語ニ絶シ日常ノ設備蕩然一空ニ歸シ焦眉ノ措置最モ急ヲ要ス

内閣告諭第一號

東京及近縣ニ互レル今次ノ震災ハ件フニ大火災ヲ以テシ慘害ノ甚シキ言語ニ絶シ日常ノ設備蕩然一空ニ歸シ焦眉ノ措置最モ急ヲ要ス

政府ハ先ツ秩序ヲ保チ安定ヲ得シムルニ勉メ食糧物資ノ補給建築材料ノ準備其ノ他應急百般ノ施設ヲ爲スニ於テ最善ノ努力ヲ竭クシツツアリ攝政殿下深ク御憂慮アラセラレ親シク優渥ナル御沙汰ヲ賜ヒ内帑ノ資ヲ發セララルル旨ヲ傳ヘラレ適宜應急ノ處置ヲ爲シ遺憾ナキヲ望マセラル生民ノ休戚ニ就キ御軫念アラセラルルノ深キ同胞ト俱ニ本大臣ノ恐懼感激ニ勝ヘサル所ナリ茲ニ盛旨ヲ奉シテ應急ノ處置ヲ執リ復舊ヲ圖ルハ政府ノ全力ヲ擧ケテ事ニ從フ所ナルモ亦舉國一致ノ奮起協力ニ待ツコト切ナリ冀クハ罹災者ハ固ヨリ一般ノ國民皆能ク盛旨ノ渥キヲ奉體シ官民戮力以テ仁慈ナル御沙汰ノ貫徹ヲ期シ各自相激勵シテ適應ノ處置ヲ誤ラス此ノ異常ノ災害ニ對シテ絶大ノ努力ヲ致サレムコトヲ是レ本大臣ノ切望ニ堪ヘサル所ナリ

大正十二年九月四日

内閣總理大臣 伯爵 山本權兵衛

大正十二年九月一日

大正十二年九月一日午前十一時五十八分突如トシテ起リタル大震災ハ實ニ我國未曾有ノ大異變ニシテ
其ノ區域一府七縣ニ跨リ強震ニ次クニ視融海嘯ヲ以テシ是レカ爲メ數十萬ノ生靈ト百億ノ財資トヲ奪
ハレ京濱一帯ノ都邑忽チニシテ焦土ト化シ酸鼻ノ極寔ニ正視スルニ忍ヒサルモノアリ
此ノ急變ニ當面シタル帝國政府ハ勿論全國民カ一丸トナリテ所謂舉國一致眞ニ同胞愛ノ至情ニ依リテ
罹災者ノ救護並ニ罹災地ノ復舊ニ盡シタルハ今更茲ニ贅言ヲ要セサル所ニシテ特ニ震災地ト産業取引
其他ニ於テ密接ナル關係ヲ有スル本縣ニ於テハ其ノ影響スル所亦甚大ナリ茲ニ於テ本縣ハ迅速之レカ
救援ニ着手シ官民協力之ニ善處スルノ方策ヲ講シタリ爲メニ帝都ノ救援事業ニ對シ相當ノ効果ヲ齎シ
タルヲ信スルモノナリ而シテ本編ハ其ノ間本縣カ施設實行セル事項ノ概況ヲ蒐録シ其ノ經過及成績ノ
大要ヲ記述シタルモノナルカ時恰モ廳務多端ナリシ際ナルト又早急ニ材料ヲ蒐集シタルコトトテ其ノ
調査精確ナラサルヤヲ虞ル、モ亦以テ本編ニ依リ本縣施設ノ一斑ヲ窺フヲ得ヘキカ

内閣府編纂一覽

序言

大正十二年九月一日午前十一時五十八分突如トシテ起リタル大震災ハ實ニ我國未曾有ノ大異變ニシテ
其ノ區域一府七縣ニ跨リ強震ニ次クニ視融海嘯ヲ以テシ是レカ爲メ數十萬ノ生靈ト百億ノ財資トヲ奪
ハレ京濱一帯ノ都邑忽チニシテ焦土ト化シ酸鼻ノ極寔ニ正視スルニ忍ヒサルモノアリ

此ノ急變ニ當面シタル帝國政府ハ勿論全國民カ一丸トナリテ所謂舉國一致眞ニ同胞愛ノ至情ニ依リテ
罹災者ノ救護並ニ罹災地ノ復舊ニ盡シタルハ今更茲ニ贅言ヲ要セサル所ニシテ特ニ震災地ト産業取引
其他ニ於テ密接ナル關係ヲ有スル本縣ニ於テハ其ノ影響スル所亦甚大ナリ茲ニ於テ本縣ハ迅速之レカ
救援ニ着手シ官民協力之ニ善處スルノ方策ヲ講シタリ爲メニ帝都ノ救援事業ニ對シ相當ノ効果ヲ齎シ
タルヲ信スルモノナリ而シテ本編ハ其ノ間本縣カ施設實行セル事項ノ概況ヲ蒐録シ其ノ經過及成績ノ
大要ヲ記述シタルモノナルカ時恰モ廳務多端ナリシ際ナルト又早急ニ材料ヲ蒐集シタルコトトテ其ノ
調査精確ナラサルヤヲ虞ル、モ亦以テ本編ニ依リ本縣施設ノ一斑ヲ窺フヲ得ヘキカ

大正十二年十二月

福井縣

目次

目次

一、	救護準備	一頁
二、	天機奉伺	一
三、	福井縣救濟會ノ設置	二
四、	救援委員ノ設置	四
四、	罹災地救援ニ關スル訓令	五
六、	救援費ノ支出	七
七、	義捐金品ノ募集	七
(一)	義捐金ノ募集狀況	七
(二)	義捐物品ノ募集狀況	一〇
八、	物資調達及輸送	一三
(一)	物資調達ノ狀況	一三
(二)	輸送船舶ノ準備	一七
(三)	第一次輸送狀況	一八

(四)	第二次輸送狀況	一八
(五)	第三次輸送狀況	一九
(六)	縣内ニ於ケル輸送ノ狀況	一九
(七)	物資ノ配給狀況	一九
(八)	輸送物資調	二〇
九、	救護班ノ派遣	二二
十、	震災地在住ノ縣人救護	二五
十一、	縣内避難者ニ對スル施設	二七
(一)	各驛ニ於ケル狀況	二八
(二)	歸郷者職業紹介	二九
(三)	救助金ノ交付	三〇
(四)	縣内避難者調	三一
十二、	其他一般救護事務及警備	三三
十三、	郡市及警察ノ救護狀況	三六
(一)	福井市	三六

九月二日帝都横濱地方ノ災害ノ状況確報セララル、ヤ知事ハ直チニ 天機并御機嫌奉伺ノ電報ヲ發シタリ而シテ第三師團第四師團ヨリ飛行通信ヲ敢行シ其ノ状況ヲ漸次知悉スルニ 攝政宮殿下御恙モアラセラレヌ御安泰ニアラセラレ帝都ノ慘狀ヲ詳ニ聽取アラセラル、趣誠ニ恐懼ニ堪ヘサルト共ニ災害地救護ノ一日モ緩フスヘカラサルヲ痛感ス。

三、福井縣救濟會ノ設置

九月三日縣廳ニ於テ知事、兩部長、各課長、縣會議長、市長等相協議シ縣廳ニ救濟會ヲ設置スルコト、シ其ノ旨一般ニ周知方郡市長、警察官署長ニ通牒シ茲ニ東京地方災害福井縣救濟會ノ成立ヲ告ケタリ。

東京地方災害福井縣救濟會綱領

- 一、名 稱 東京地方災害福井縣救濟會
- 二、事務所 福井縣廳社會課內
- 三、會長 知事 白男川讓介
- 四、委員 委員長 岩井正次郎
副委員長 警察部長 菊地 慎三
同 縣會議長 義江 民治
- 理事官 橋爪 精一
同 二見 直三
同 小田鐵次郎
- 同 屬 小林大幸作
同 小野田重信
同 上坂 登

同	宮川 弘	同	酒井 利一
技師	川越 篤	警部	大島彌三郎
同	綠川 門彌	同	坂本貴治郎
警視	荒木 義夫	社會教育主事	井上寅之助
視學	福士 繁吉		

五、地方委員

- 一、郡市長及警察官署長、町村長
- 二、縣會議員、市町村會議員、地方有力者

六、事務分擔

- 一、庶務 (募金募品其他)
 - 委員 橋爪 精一
 - 委員 二見 直三
 - 委員 小野田重信
 - 委員 福士 繁吉
 - 委員 上坂 登
 - 委員 酒井 利一
 - 委員 井上寅之助
- 二、物資 (調査及蒐集)
 - 委員 川越 篤
 - 委員 小田鐵次郎
- 三、輸送 (罹災地へ送ルモノ)
 - 委員 荒木 義夫
 - 委員 大島彌三郎
- 四、救護 (救護班トシテ罹災地ニ赴クモノ)
 - 委員 綠川 門彌
 - 委員 坂本貴治郎
- 五、會計 (金品出納)

委員 宮川 弘 委員 小林 幸作

七、募集期限 九月十五日限

八、數量制限 ナシ

九、義捐種類 現金 現品ノコト

一〇、義捐金品ハ東京其他災罹地へ被害ノ程度ヲ酌量シテ之ヲ送付スルコト
而シテ委員二見直三ハ九月四日山口縣理事官ニ轉任ノ爲後任理事官東根四郎ト更迭シ副委員長菊地慎三
帝都復興院書記官ニ九月十六日轉任ノ爲後任警察部長豊島長吉ト更迭シ委員長岩井正次郎十月二十六日休
職ノ爲後任内務部長南波奎三郎ト更迭シ委員橋爪精一長野縣内務部長ニ轉任ノ爲委員ヲ退キ副委員長義江
民治縣會議長改選ノ爲縣會議員窪田彦左衛門ト更迭シタリ

四、救援委員ノ設置

廳中ニ於ケル震災事務激増シタルヲ以テ之ヲ處辨スル爲救援委員ヲ設置スルコト、シ九月七日廳訓第十
一號ヲ以テ設置規程ヲ制定シタリ

關東地方災害救援委員設置規程

- 第一條 關東地方災害救援ニ關スル事務ヲ處辨スル爲廳中ニ救援委員若干名ヲ置ク
- 第二條 委員ハ官吏吏員中ヨリ知事之ヲ任免ス
必要アリト認ムルトキハ官吏吏員以外ノモノニ委員ヲ囑託スルコトアルヘシ
- 第三條 委員其ノ職務ニ關シ旅行スルトキハ本官相當ノ旅費ヲ支給ス

官吏ニアラサルモノ、委員ノ旅費ハ其ノ時ニ之ヲ定ム

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

次テ即日内務警察兩部長以下廳員ニ委員ヲ命シタリ

關東地方災害救援委員人名表

内務部長	岩井正次郎	屬	小野田重信
警察部長	菊地 慎三	同	小林 幸作
技 師	川 越 篤	視 學	福士 繁吉
技 師	綠川 門彌	社會教育主事	井上寅之助
理事官	小田鐵次郎	警 部	大島彌三郎
同	橋爪 精一	同	坂本貴治郎
同	東根 四郎	屬	上坂 登
同	宮川 弘	同	酒井 利一
警 視	荒木 義夫		

其他震災救援職務ノ爲メ管内外へ出張シタル廳員ニ對シ臨時委員ヲ任命シタリ
委員中岩井、菊地、橋爪ノ三委員ハ夫々轉任ノ爲委員ヲ退キタリ

五、罹災地救援ニ關スル訓令

罹災地救援ニ關スル政府ノ訓令ヲ貫徹セシメンカ爲知事ハ左ノ訓令ヲ發シ此ノ際官民協力救急ノ實ヲ舉

クルコトヲ期シタリ
訓第六八號

内務部 警察部
郡市役所 警察署

關東地方ニ於ケル災害ノ狀況左記ノ如ク公報アリ本件ニ伴フ治安ノ維持人心ノ安定ニ關シ内務大臣ヨリ別紙ノ通り訓令アリタルニ付此旨心得置キ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

右訓令ス

大正十二年九月八日 福井縣知事 白男川讓介

左記

九月一日午前十一時五十八分東京附近ニ一大震動ヨリ次テ火災起リ東京市内ハ各所ニ山手ノ一部ヲ除キ下町一帶ハ全部焼滅シ死傷者十數萬ヲ算シ内務、大藏、鐵道、逓信、農商務、文部各省、警視廳其他ノ官公署ハ燒燼シ横濱市ハ死者三萬有餘ヲ算シ鎌倉小田原一帶モ亦殆ト家屋倒壊シ死傷者無數ヲ出セリ埼玉縣ハ川越町及幸手村附近ヲ除キテハ災害ノ程度尠ク利根川以東及静岡縣沼津以南ニハ著シキ災害ト認ムヘキモノナシ

日光御用邸御駐轡中ノ 兩陛下 ニハ何等御異常無ク 攝政殿下 ニハ震動當時宮中ニ在ラセラレタルモ御異變毫モナシ

(別紙ハ九月四日内務大臣ノ訓令)
更ニ震災ニ乘シ一部不逞鮮人妄動アリトテ鮮人ニ對シ頗ル不穩ノ感ヲ抱ク者アリトテ流言蜚語ニ惑ハサレテ往々不穩ノ舉動アル者ヲ戒ムル爲内閣總理大臣ニ於テハ内閣告諭第二號ヲ以テ國民ノ節制ト平和ノ

精神ヲ發揮センコトヲ懇諭サレタリ知事ハ之レカ主旨ノ徹底ヲ期スル爲左ノ訓令ヲ發シタリ
訓第六九號

内務部 警察部
郡市役所 警察署

關東地方ニ於ケル災害ニ關シ一般國民ノ節度ト平和ノ精神保持ニ付内閣總理大臣ヨリ告諭又流言蜚語取締ニ付緊急勅令各別紙ノ通公布セラレタルニ付キ此旨心得置キ之レカ周知ニ努メ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

右訓令ス

大正十二年九月十一日

福井縣知事 白男川讓介

(別紙九月五日内閣告諭第二號全文)

六、救援費ノ支出

災害地救護ニ要スル食糧品其他物資購入ニ充ツル費用及災害地ニ於ケル救護物資輸送等ノ爲派遣スヘキ職員ノ旅費等支出スル爲九月七日急遽縣參事會ヲ開キ救護費金拾萬圓ヲ可決シタリ

七、義捐品募集狀況

(一) 義捐金ノ募集狀況

九月三日縣廳ニ官民一致ノ救濟會ヲ組織シ直チニ縣下全般ニ亘リ義捐金ノ募集ヲ爲スコトニ爲リ先ツ戸

數一戸當金六拾錢以上ノ義捐金ヲ募ルコトニ決定シ即日郡市長、警察官署長ニ對シ左ノ通牒ヲ發シ右計書ニ對シ最善ノ努力ヲ盡サシムルコト、シ一面ニ於テハ團體又ハ一個人ノ此際單獨ニ義捐金募集ノ企劃ヲ避ケシメ官民一致右計書ノ實行ヲ期セシムヘクシタリ

社丙第一六〇號
大正十二年九月三日

各郡市長殿
各警察官署長殿

福井縣內務部長
福井縣警察部長

東京地方震災義捐金募集ニ關スル件依命通牒

這回東京橫濱地方ノ災害ニ就テハ新聞紙其他ノ報道ニ依リ既ニ其ノ慘狀御承知ノコトト存候處右ハ日本未曾有ノ大慘事ニシテ國民舉ツテ是カ救濟ニ當ルヘキ義ト信候ニ付テハ今回罹災者救助ノ爲メ縣民一般ノ義捐金ヲ募集スルコトニ相成貴管下據出金左記金額以上ノコトニ致度候條郡市警察兩當局共ニ協力シテ之レカ募集ヲ爲シ速ニ本縣へ御送金方御配慮相成度候也

而シテ其ノ配當金額總額金七萬四千圓トシ各郡市ノ配當金左ノ如シ

義捐金配當表(九月三日社丙第一六〇號添付)

足羽郡	四、三〇〇	南條郡	六、〇〇〇
吉田郡	四、五〇〇	敦賀郡	五、三〇〇
坂井郡	一、二〇〇	三方郡	二、五〇〇
大野郡	八、一〇〇	遠敷郡	五、七〇〇
今立郡	八、〇〇〇	大飯郡	一、九〇〇
丹生郡	六、四〇〇	福井市	九、一〇〇

更ニ郡市ニ於ケル義捐金募集應援ノ爲九月五日內務部長岩井正次郎、屬酒井利一ハ南條郡、今立郡へ、警察部長菊地慎三ハ吉田郡、理事官宮川弘ハ足羽郡へ、社會教育主事井上寅之助ハ敦賀、三方、遠敷、大飯ノ四郡へ、九月六日內務部長岩井正次郎、屬八田繁雄ハ坂井郡へ何レモ出張シ國家ヲ舉ケテ救濟ヲ爲スヘキ主旨ヲ説キ義捐金募集ノ應援ニ努メタリ然ル所義捐金ノ募集ニ應スル者頗ル多ク旬日ナラヌシテ拾萬圓ヲ突破スルノ盛況ヲ見一面ニ於テハ各地ノ青年團、處女會、消防組、軍人團、婦人會、宗教團體等ニ於テハ先ヲ競ツテ義捐金ノ募集ニ努メ縣廳ヲ始管内一般ノ官公署ニ於テモ義捐金ヲ據出スルコトトシ高等官ハ月俸ノ百分ノ十、判任官ハ月俸百分ノ五、雇員以下ハ月俸百分ノ三以上ヲ據出シタリ、而シテ其ノ義捐金ハ十二月十日迄ニ於テ金貳拾萬六千百圓ヲ縣救濟會ニ於テ取扱ヒ其ノ資金中食糧、其他衣類等ヲ購入シ罹災地ニ向ケ續々發送シテ罹災者救助ニ充テタリ

郡市義捐金募集成績

足羽郡	六、〇二六	敦賀郡	三、四九〇
吉田郡	八、一三三	三方郡	九、八〇三
坂井郡	二、三、五〇三	遠敷郡	一、五、五六一
大野郡	一、六、九八九	大飯郡	五、一六七
今立郡	一、一、三〇六	福井市	三、九、九九二
丹生郡	一、七、六四五	計	二〇六、一〇一
南條郡	一、七、〇八〇		

其他、市内福井、日報、福井毎日ノ各新聞社ニ於テモ義捐金ノ募集ニ努メタリ

義捐金募集及出納事務從事者

出納事務

內務部長	岩井正次郎	理事官	宮川 弘
警察部長	菊地 慎三	屬	小林 幸作
理事官	宮川 弘	屬	加藤 嘉一
社會教育主事	井上寅之助	屬	北川 正一
屬	八田 繁雄	縣書記	川端 勇吉
屬	酒井 利一		

(二) 義捐物品ノ募集狀況

義捐金ノ取扱ニ付テハ救濟會ニ於テ全力ヲ注キ募集スルコトニナリタルト雖モ一般縣民ニ於テハ義捐金ノミナラス物品ヲ釀出シ罹災者救助ノ一端トシタキ特志者續々アリ然ナカラ運輸交通機關ノ杜絶ノ爲メ之ヲ輸送スルコト困難ナルカ故ニ此際之等ヲ縣救濟會ニ於テ全部取纏メ輸送ノ圓滑ヲ圖ルト共ニ急速罹災者救助ノ資ニ充ツルノ便宜ナルヲ以テ一般縣民ノ義捐物品ヲ取扱フコトヲ新聞紙ニ公表シ一方左ノ通牒ヲ郡市長、警察官署長ニ發シ此又募集ニ全力ヲ注キタリ

社丙第一六二號

大正十二年九月四日

福井縣內務部長
福井縣警察部長

各 郡 市 長殿
各警察官署長殿

東京地方災害罹災者慰問袋募集ニ關スル件依命通牒

東京地方災害罹災者救助ニ關シテハ本月二日付社丙第一六〇號依命通牒ノ次第モ有之義捐金募集ヲ始メ

トシ種々御配慮中ノコトト相信シ居候モ更ニ救助ノ一端トシテ縣民一般ノ同情ニ訴ヘ右罹災者ニ對スル慰問袋ヲ募集致度候條左記事項御了承ノ上郡市、警察兩當局共ニ協議ヲ遂ケ一般へ周知セシムルト共ニ在郷軍人會、青年會、婦人會、處女會等ニ委囑シ之レカ募集ニ努メラレ度依命此段及通牒候也

記

- 一、慰問袋ノ内容品ハ食料品ヲ除クコト
- 二、一袋ノ價格凡ツハ五拾錢以內トスルコト
- 三、慰問袋ハ團體、個人何レニテモ差支ナキコト
- 四、慰問袋ニハ寄贈者ノ住所氏名ヲ詳記スルモ差支ナキコト
- 五、慰問袋ハ相當ノ數ヲ取纏メ其都度目錄ヲ添へ本縣へ送付スルコト

社丙第一六三號

大正十二年九月四日

福井縣內務部長
福井縣警察部長

各 郡 市 長殿
各警察官署長殿

東京地方災害罹災者救助物品取扱ニ關スル件依命通牒

東京地方災害罹災者救助ニ關シテハ既ニ義捐金慰問袋等ノ募集ニ御盡力中ノコトト相信シ居候モ更ニ團體個人等ニ於テ物品ヲ寄贈セントスル者多々有之候趣ノ處寄贈手續輸送ノ關係上差控ユル向キ有リテハ甚タ遺憾ノコトト存シ候ニ付此際之等寄贈物品ハ本縣ニ於テ全部取纏メ輸送スルコトニ致度候條左記事項御了承ノ上此旨管下一般へ御周知方可然御取計相成度

記

一、郡市役所、警察署ニ於テハ寄贈物品取扱者ヲ定メ郡市警察兩當局連絡提携シテ取扱ヲ爲スコト
 二、寄贈物品中小形ノモノハ郡市役所、警察署ニ送付セシメ大形ノモノハ取扱者ノ指揮ヲ受ケ最寄停車場迄送付セシムルコト
 但シ此ノ場合ノ運賃ハ寄贈者ノ負擔トスルコト
 三、寄贈物品ハ之ヲ取纏メ嶺北各郡市ハ本縣へ嶺南各郡ハ敦賀驛迄送付スルコト
 四、寄贈物品縣内ノ輸送ニ關シテハ各官衙取扱者ヨリ最寄驛長ト協議ヲ爲スコト
 次テ舊縣廳舎ニ救恤品取扱事務所ヲ九月六日ヨリ開設シ續々各地ヨリ救恤品ニ團體其他寄贈者ノ目標（旗）ヲ建テ晝夜ヲ問ハス輸送シ來リ又遠方ニ於ケル救恤品ハ連日貨車ニヨリ搬入セラレ一時ハ救恤品ノ山ヲ築キタルノ光景ヲ呈セリ而シテ之等救恤品ハ罹災地輸送ノ貨車調達次第連日名古屋、神戸、田端ノ各驛ニ發送罹災者救助ノ資ニ充テタリ又一面罹災兒童救助ノ爲メ學用品ノ寄贈ヲ中等學校以下各小學校ニ勸誘シ之等寄贈ノ學用品ト共ニ縣救援費中ヨリ應急的救助トシテ學用品三千圓ヲ購入調達シ震災地ニ向ケ急送シタリ義捐物品寄贈ノ一覽ヲ表セハ左ノ如シ

義捐物品寄贈一覽

米	一、七七一	薤	三
衣類	八一、四九一	味噌	一五二
慰問袋	六三、八四二	庖刀	一
學用品	一五〇、九五二	藥罐	一〇
木炭	一〇	鍋	六二二
梅干	一九〇	鹽干魚	四二

鯉節	一	芋類	四一五
麵	一	食料品	一〇七
醬油	二〇四	穀類	一三
バケツ其他	七二九	雜品	一〇、八六四
家具用品			

義捐物品取扱及學用品取扱事務従事者

物品取扱事務	理事官	屬	屬	屬	屬	縣書記	學用品取扱	理事官	視學
	宮川 弘	小林 幸作	八田 繁雄	上坂 登	今立 昌雄		島田 長榮	東根 四郎	福士 繁吉
							大島 益太		

八、物價調達及輸送

(一) 物資調達ノ狀況

災害ノ結果地方物資ノ需要激増ニ依リ物價ノ暴騰或ハ暴利ニ貪ル奸商ノ輩出サルノコトハ最モ憂フル所ナルモ迅速ニ暴利取締令ノ發布有タルト一面ハ同胞共存ノ大義ニ則リ一般ノ自制鑑戒トニヨリ之等ノ輩出ナキハ喜フヘキ現象ナルモ一方之レカ取締ヲ緩漫ニスルコト又出來難キヲ以テ縣ニ於テ先ツ左ノ通牒ヲ發シ物價釣上ニ對スル警告ヲ爲シタリ

大正十二年九月三日

福井縣內務部長
福井縣警察部長

各郡市長殿
各警察官署長殿

東京地方災害ニ際シ物價釣上警告ニ關スル件依命通牒

東京地方ノ災害ハ實ニ未曾有ノ大慘事ニ有之罹災地ハ食糧ヲ始メトシ其他日用品ニ至ル迄殆ント烏有ニ期シタル爲各地方ヨリ罹災地ニ多數ノ物資ヲ供給スル關係上俄ニ諸物價ヲ釣上クルモノアルヤモ計リ難ク若シ萬一斯様ノモノ相生シ候テハ遺憾此上ナキ次第ト存候這般ノ大慘事ニ方リテハ國民共存ノ大義ニ由リ國ヲ舉ケテ之レカ救済ニ當ルヘキ義ニ有之本縣ニ於テモ縣民一般ノ義捐金ヲ募集シ食糧其他ノ必要品或ハ衛生材料ノ供給等ニ腐心致居尙ホ罹災者ニ對スル個人的ノ供給モ盛ナラントスル折柄ナレハ此際物價ヲ釣上ケサルハ勿論、出來得ル限り物價ノ低下ヲ圖リ罹災地ニ對シ物資ノ供給ヲ容易ナラシムル様致度候ニ付貴管下一般當業者ニ對シ前趣旨ニ依リ懇々警告方至急御取計相成度候也

次テ物資調達ニ付テハ三日內務次官ヨリ災害地ノ食糧缺乏ニ付キ米、副食物其他日用品ヲ輸送スヘキ旨ノ電報ニ接シタルヲ以テ物資調達ノ事務ヲ勸業課ニ擔任セシメ九月三日午前十時ヨリ近キハ自轉車ニテ職員ヲ派遣シ遠キハ電話等ニテ物資ノ數量、所在及加工能率等ヲ調査シ何時ニテモ物資ヲ罹災地ニ輸送出來得ル様ノ準備ヲ整フト同時ニ差當リ第一回輸送トシテ白米五百俵、梅干三十樽、薤漬二十樽ノ調達ニ着手シ多數ノ職員ヲ派遣梅干、薤漬ハ福井市内ニ於テ調達シ米ハ精白ヲ必要トシ突然ノ調達ナルカ爲メ全部福井市内ニ於テ調達スルコト困難ナル爲メ鯖江、武生、敦賀ノ數所ニ於テ調達スルコトニ爲リ而シテ調達力豫定ノ如ク進捗セスシテ一刻ヲ遅ルコトハ夫レ丈ケ罹災者ニ苦痛ヲ感セシムルコトトナルヲ以テ小田理事官

以下六名ノ職員ハ福井驛ニ詰切リ一面電話ヲ以テ調達ヲ督勵スルト共ニ福井驛ニ集マレル現品ノ收受及検査等ニ徹宵從事シ豫想外早ク翌朝七時四十分第一回ノ輸送ヲ終タリ第二回ハ第一回ニ於ケル調達ノ經驗ト現在品ノ所在ト加工ノ能率等ヲ調査シアルヲ以テ大ニ便利ヲ得タルノミナラス更ニ福井驛ニ係員ノ派出所ヲ特設シ各驛ヨリ同驛ニ集合スル物品ノ調査荷札ノ付着其他輸送ノ手配等ニ從事シ各地ニ出張セシ係員ハ孰レモ自轉車ニテ駈ケ廻リ調達ヲ終ルヤ直チニ現品ノ荷造ヲ爲シ貨車ニ積込ム等晝夜別ナク人夫同様勞役ニ服シタルヲ以テ孰レモ豫定ノ如ク調達輸送スルコトヲ得遺憾ナキヲ期シタリ其ノ物資調達ノ一覽左ノ如シ

物資調達調	種類	數量	種類	數量
白米	米	五、〇〇〇俵	鹽干魚	二〇〇箱
薤漬	刀	二〇、〇〇〇挺	鯉節	四〇〇箱
藥	鐵	四、五〇〇箱	石田編及裏地	一〇、六二一疋
木炭	炭	六、〇〇〇箱	粗服	一〇、〇〇〇枚
梅干	干	三〇箱	衣服	三〇〇枚
鍋	先	一〇、五〇〇箱	雜記帳	二〇、〇〇〇冊
ベソソ	軸	六、〇〇〇本	鉛筆	七九、〇〇〇本
ベソソ	軸	六、〇〇〇本	綱帶材料	一、一二〇匹

此調達品ノ價格金十二萬一千三十圓ニ上リ其他罹災地ニ設ケタル本縣救済事務所ニ送付スヘキ物資ハ價格千八百二十五圓ニシテ其ノ數量ハ之ヲ省略ス

衣類ノ調製ニ在リテハ前記ノ石田編及裏地ヲ縣下各中等學校ノ女生徒ヲシテ急々之ヲ裁縫セシメ糊帶材料ハ愛國婦人會員及福井病院、女學校生徒ヲシテ調達セシメタリ衣類調達ニ從事シタル各學校ハ

- 福井縣師範學校
- 大野高等女學校
- 丸岡實科高等女學校
- 福井女子技藝學校
- 福井高等女學校
- 小濱高等女學校
- 三國實業女學校
- 鯖江裁縫學校

- 武生高等女學校
- 敦賀高等女學校
- 仁愛女學校
- 高濱實業補習學校

物資調達事務従事者

- 理事官 小田鐵次郎
- 技師 一番 瀨鎮藏
- 産業技師 古賀 信義
- 同 庄司與一郎
- 同 橋高 義雄
- 同 奥田與兵衛
- 産業主事 渡邊 郡重
- 同 山田信次郎
- 同 荒川 雄作
- 同 林 定紀
- 同 好川良次郎
- 同 伊藤 耕間
- 同 岸本 直基

- 技手 久慈 隆元
- 同 岡 十四喜
- 同 天井幸次郎
- 同 浦野 陳誠
- 同 松浦 規
- 同 乾 明太郎
- 同 盛次彦太郎
- 同 塚田 茂
- 同 長谷川 清
- 同 遠藤 庄七
- 同 津島梅太郎
- 同 吉田由之助
- 同 吉田利三郎

(二) 輸送船舶ノ準備

- 同 大島 廣
- 同 大藤 末吉
- 同 吉田杉太郎
- 同 高橋久右衛門
- 産業技手 北川 甚助
- 同 大塚 由雄
- 同 田中 義雄
- 同 島田 七郎
- 同 柴田 新作
- 同 鈴木 與作
- 同 山口新太郎
- 産業主事補 小林 外藏

- 同 上野 寛三
- 同 梯忠左衛門
- 同 松川 新藏
- 同 齊藤 愿義
- 同 山本 小助
- 同 山下 岩太
- 同 樺山喜太夫
- 同 河野 忠夫
- 同 小泉 博
- 同 宮谷 四郎
- 同 服部 花松

物資輸送ノ緩急ハ罹災者救護ニ關シ至大ナル影響ヲ及スモノニシテ一日ヲ爭フ實狀ナルモ本縣ハ災害地ニ距離遠ク海運ヲ利用スルコト出來難ク北陸線ニテ東京地方ニ物資輸送スルニハ鐵道運輸ノ圓滑ヲ圖ルヘキモ東京附近ノ鐵道ハ破壊サレタル爲唯一トスヘキ輸送機關モ震災當時ニ於テハ利用スルコト困難ナルヲ以テ名古屋、神戸等へ物資ヲ輸送シ彼地ヨリ船舶ニ依リ輸送スルコトニ決定シ一方大阪府ニ於テハ京都外八縣(京都、奈良、兵庫、高知、和歌山)知事ノ協議會ヲ開キ關西府縣聯合事務局ヲ設置スルコトニ協定シ物資ハ大阪港、神戸港ニ廻送災害地ニ輸送スルコトヲ本縣ニ通牒越シタル關係上九月七日警視荒木義夫ヲ大阪

府、兵庫縣へ出張セシメ當局ト種々打合テ遂ケ何時ニテモ物資輸送ノ準備ヲ整ヘタリ

(三) 第一次輸送ノ狀況

縣救濟會組織サルルヤ即日縣下各地ニ派遣サレタル應員ハ物資ノ調達ニ奔走シ九月四日午前七時四十分第一回福井驛發ニテ白米五百五十俵、梅干二十樽、薤二十樽ヲ名古屋港ニ輸送シ續テ九月五日午後一時白米三〇〇俵、鍋五千個、庖刀二萬挺ヲ輸送シ名古屋港ニ於テ神戸市ヨリ廻船ノ伏見丸ニ積込ムコトナリ之レカ積込指揮官トシテ九月四日産業技手池口武彦、同遠藤庄七ノ二名ヲ名古屋市ニ派遣シタルモ名古屋港ニ於テハ愛知縣其他各縣ヨリ輸送シ來レル救恤品多キ爲積込ニ困難ヲ感シタルヲ以テ更ニ九月六日技手岡十四喜、同片岡教ノ二名ヲ同地ニ急行セシメ其間苦心慘憺ノ結果、本縣救恤品ハ無事ニ積込ムコトヲ得派遣員四名ハ共ニ乗船東京、横濱方面ヘ向ヒタリ派遣員中池口技手ハ横濱、東京、田端ニ於ケル救恤品引渡事務ニ從事シ同月二十七日歸廳、岡、片岡、遠藤ノ三技手ハ東京、横濱ニ於ケル救恤品引渡事務ニ從事シ何レモ同月十六日歸廳シタリ

(四) 第二次輸送ノ狀況

兵庫縣當局ト交渉シタル荒木警視ハ九月九日歸廳其ノ齋セル結果ニ依リ第二次輸送ハ神戸港ヨリ輸送スルコトニ決定シ九月七日屬宮崎吉太郎、技手栗波伊之助ヲ神戸市ニ急行セシメ救恤品積込ノ準備ヲ爲サシムルト共ニ九月八日白米一千五百四十俵、鹽節四百貫、木炭六千俵、藥罐一千五百個、蒸鍋五百個ヲ先發トシテ屬大橋章二ヲ貨車ト共ニ同行セシメ神戸市ニ輸送シタリ續テ九月九日白米七百俵、九月十日白米八百俵、其他連日幾貨車トナク縣下各地ヨリ募集ノ義捐品ヲ輸送シタリ物資ハ遠東丸、大有丸、夕顔丸ノ三船ニ分乘派遣員中栗波技手ハ物資ト共ニ横濱市ニ向ヒ救恤品ノ引渡ヲ爲シ同月十二日歸廳大橋屬ハ

同月十五日宮崎屬ハ同月十七日積込任務ヲ終リ歸廳シタリ

(五) 第三次輸送ノ狀況

次テ鐵道輸送モ亦漸次復舊サレ救恤品ハ急速輸送スルコトニナリタルヲ以テ名古屋市、神戸市ヨリ船舶ニテ輸送スルノ外鐵道便ニテ田端町ニ輸送スルコトニ決定シ九月六日第一回トシテ白米七百俵、鹽干魚百箱、鍋五千個、藥罐二千個、九月八日白米三百七十俵ヲ先發トシテ續々連日義捐品ヲ輸送シ貨車中繼其他物資ノ輸送ヲ速カナラシムル爲メ九月六日第一回ノ物資ト共ニ警部笠間德次郎ヲ東京市ヘ派遣シ續テ物資引渡及災害地ニ於ケル物資配給指揮ノ爲職員ヲ田端、東京、横濱地方ニ派遣シタリ笠間警部ハ輸送方法ニ付キ各驛當局ト交渉ヲ遂ケ同月十日歸廳シタリ

(六) 縣内ニ於ケル輸送ノ狀況

物資ノ輸送ハ一日ヲ爭フ場合ナルヲ以テ物資調達ノ順調ナルニ伴ヒ又一面ニハ縣民一般ノ同情集マリ義捐品ノ寄贈山積スルモノ數十ト云フ状態ナリ之レカ輸送ニ付テハ急速ヲ要スヘキモ如何セン交通機關ノ故障ノ爲輸送充分ナラス職員ヲ縣内各驛ニ派遣シ輸送ノ間滑ヲ圖ラシメタル結果充分トハ言ヘサルモ九月四日ヨリ連日二回三回ト貨車ヲ動スコトヲ得縣廳ニ置レタル義捐品ハ輸送ニハ福井驛ト交渉シ晝夜兼行ニテ職員大活動ヲ爲シ職員自ラ仲仕ト爲リ各人夫ヲ指揮督勵シ輸送ヲ急速ナラシメ遠距離ニ於ケル義捐品ハ職員ヲ派遣シ同地ノ郡役所、警察署員ト協力此又晝夜兼行大努力ヲ爲シ物資輸送ノ完璧ヲ期シタリ

(七) 物資ノ配給狀況

本縣ヨリ輸送ノ物資ハ前掲ノ如ク名古屋、神戸市ニ廻送海運ノ便ヲ以テ輸送シタルト鐵道便ヲ以テ田端

驛ニ輸送シタルト所謂海陸二方面ヨリ迅速輸送スルコトヲ得タルモ罹災地ハ非常時ノ際トテ混亂其ノ極ニ達シ積載貨ノ陸揚配給ハ非常ナル困難ヲ感シ最初東京市芝浦ニ着陸スル伏見丸、遼東丸、横濱市ニ着陸スヘキ大有丸等ハ九月十日無事着港シタルモ如何ニセン陸揚ノ準備交渉ニ困難ヲ感シタルト雖モ名古屋港、神戸港等ヨリ物資ト共ニ乗船シタル池口、片岡、岡、遠藤ノ四技手神戸港ヨリ乗船シタル粟波技手等ハ極力事務局及神奈川縣當局等ト交渉シ陸揚ノ準備完ヲ整ヘ數日ナラスシテ無事陸揚スルコトヲ得タルモ又次テ之等配給ニ困難ヲ感シ應援トシテ九月九日産業主事補三上庄右衛門ヲ同地ニ派遣シ更ニ三上主事補ト交代スヘク九月十六日産業技手塚田茂ヲ同地ニ派遣シ極力奔走シ配給ノ完全ヲ期シタリ一方鐵道便ヲ以テ輸送シタル物資ニ就テハ田端驛ニ職員派遣ノ必要ヲ感シ九月十一日警部西雅雄、警部補水波隆ノ二名ヲ田端驛ニ派遣シ次テ九月十二日警部補三上瀧之輔ヲ同地ニ派遣シ續々輸送サルル物資ノ引渡、東京市、横濱市ニ配給スヘキ物資ノ送達ヲ爲サシメタリ更ニ配給ノ應援トシテ九月十六日縣書記今立昌雄ヲ同地ニ派遣シタリ此間田端第一小學校及芝浦救護事務局出張所内ニ本縣ノ物資配給事務所ヲ設ケ縣ヨリ輸送ノ自動車三臺ヲ以テ混雜中ニモ無事配給ノ完了ヲ期シタリ

(八) 輸送物資調

前掲ノ如ク物資ハ海陸二方面ニ依リ九月四日ヨリ連日輸送シタルヲ以テ其數量夥シク何レモ罹災者救援ノ熱誠ニ基クモノニシテ其數ヲ調査スレハ左表ノ如シ

種目	數量	種目	數量
米	八、一五五 <small>石</small>	學用品	一六一、四五二 <small>石</small>
衣類	九三、七八五 <small>石</small>	木炭	六、〇一〇 <small>石</small>
慰問袋	六三、八四二 <small>石</small>	梅干	二六九 <small>石</small>

種目	數量	種目	數量
盤節	四〇〇 <small>石</small>	庖刀	二〇、〇〇〇 <small>挺</small>
組油	一〇、〇〇〇 <small>石</small>	藥罐	六、〇一〇 <small>個</small>
醬油	二〇四 <small>石</small>	鍋干	一一、六二二 <small>石</small>
バケツ其他 家具用品	七二九 <small>石</small>	鹽魚	二五四 <small>石</small>
薤漬	二三 <small>石</small>	芋干	四一五 <small>石</small>
澤庵及漬物	三五五 <small>石</small>	食料	一〇七 <small>石</small>
味噌	一五二 <small>石</small>	穀類	一三 <small>石</small>
		雜品	一〇、八六四 <small>石</small>

輸送配給事務従事者

職名	氏名	職名	氏名
警視	荒木 義夫	産業技手	池口 武彦
警部	大島彌三郎	同	塚田 茂
同	西 雅雄	同	遠藤 庄七
同	笠間徳次郎	警部補	三上龍之輔
同	齋藤 廣	同	中島 嘉
同	宮崎吉太郎	同	水波 隆
同	大橋 章二	産業主事補	三上庄右衛門
同	岡崎初五郎	縣書記	今立 昌雄
同	岡 十四喜	巡查部長	淺山 虎雄
同	片岡 敦	同	須田 淳二

同	大谷 悅巖	同	竹内六之丞
同	前田嘉次松	同	大久保泰次郎
巡査	布川 彌一	同	田中 三作
同	松原 一男		

九 救護班ノ派遣

罹災地ノ混亂ハ多數ノ傷病者ニ應急ノ手當ヲ施スヘキ餘裕ナキノミナラス其ノ材料機關等モ備ハラサルヲ憂慮シ食糧ノ供給ト共ニ之等罹災傷病者ノ救護ハ緊要欠クヘカラサルニ依リ本縣ニ於テハ九月三日第一班班員十二名九月六日第二班班員十九名九月七日第三班班員十九名ヲ東京、横濱両市ニ派遣シ救護ニ從事セシメタリ其ノ救護人員第一班六百五十名第二班八百八十名第三班五百八十二名合計二千百十二名ヲ算セリ其ノ概況ヲ示セハ左ノ如シ

第一班救援状況

第一班ハ九月三日午後四時五十七分技師綠川門彌、衛生技師加茂智榮以下十二名出發シ途中危険ヲ顧ミス四日午後漸ク東京府下川口驛ニ着シ班員總掛ヲ以テ荷物ノ運搬、荷車ノ用意ヲ整ヘ驛内外ハ勿論、附近一帶ニ群集スル避難者ノ群中ヲ押シ開キ川口町ヲ出發途中震災ノ爲メ消電シタル闇黒裡ヲ進行シ本郷區方面ニ於テ戒嚴司令部ヨリノ檢閲ヲ受ケ通り合セノ醫海時報社記者ノ好意ヲ得テ府立第五中學校ニ到着シタリ校内ニ於テハ警視廳及海軍團ノ救護所開設シアリ直チニ班長綠川技師ハ警視廳及内務省ト協議ヲ遂ケタル結果最モ災害激甚タリシ本縣所被服廠附近傷病者ノ救護ニ從事スルコトニ爲リ即時警視廳回付ノ自動車ニテ本所横綱町ニ赴キ之レニ福井縣救護班本部ヲ設置シタリ而シテ愈々傷病者ノ救護ニ從事スルコトニ爲リ患者收容所ハ第一乃至第五ニ區分セラレ收容患者約三百五十名内重症患者大半ヲ占メ之等傷病者ノ回診施

療ヲ施シ班員全力ヲ盡シ之ニ當ルト雖モ飲料水ノ供給困難ニシテ治療ノ即行不可能ヲ訴フルコト數回ナラス殊ニ治療中強震襲來ノ威脅ト班員ノ睡眠不足トニシテ疲勞其ノ極ニ達シタルニ不拘ス無事救護ノ任務ヲ終レリ九月十三日全員歸縣シタリ其ノ延治療人員六百五十名ナリ

第一班従事者

技師	綠川 門彌	看護婦長	戸村よしを
衛生技師	加茂 智榮	看護婦	豊島どめを
同	木下秀一郎	同	山崎まぢる
巡査	上出 傳	同	南川しをを
赤十字社福井支部書記	小森 敏行	外人夫	三名

第二班救援状況

第二班ハ九月六日技師北村滋比郎以下十九名出發七日午後八時東京府下田端驛ニ到達シ翌日警視廳ト協商ヲ造ケ午後六時南千住西光寺内ニ本縣救護班事務所ヲ設置シ三河島町ニ出張所ヲ設ケ救護ニ關スル百般ノ準備ヲ整ヘ九日早朝ヨリ班員ヲ三班ニ別チ一隊ハ本部ニ一隊ハ出張所ニ何レモ傷病者ノ治療ヲ開始シ殘ル一隊ハ田端驛ニ至リ未着荷物ノ督促交渉ヲ爲シ且其他庶務ニ從事セリ如斯大體三隊ニ區割シタル各隊ハ何レモ日中ハ各受持救護ニ努ムルト共ニ夜間ノ應診當番ヲ設クル爲三河島町出張所員ハ午後六時迄一旦本部ニ引揚ケ當番順ヲ以テ夜間救護ニ従事セリ而シテ同月十五日警視廳救護班ト交替歸廳シタリ其ノ延救護人員八百八十名ナリ

第二班従事者

技師	北村滋比郎	醫師	高橋 長義
----	-------	----	-------

醫師	坂本 友雄	同	石川はつひ
衛生技手	鈴木 久志	同	津田 政尾
巡查	瀨川源兵衛	同	森 ムメ
同	武田 阪惠	同	津田まぢい
同	前田 齊	同	山田 ふよ
同	太田 徳榮	同	小泉キヨノ
看護婦	田中マツノ	同	四名
同		外人夫	

第三班救護状況

第三班ハ九月七日午前九時四十分港務醫官關根辰之助以下十九名神戸驛着一同汽船長崎丸ニ乗込ミ八日午前九時横濱市着上陸ノ上神奈川縣當局ト交渉セルモ時恰カモ各地救護班一時ニ來援セル關係上其ノ部署ヲ定メ配置方法上統一ヲ欠クコト夥シク到底完全ナル配置場所ヲ得ルコト至難ナルニ至リ同交渉ヲ一先ツ打切り班員各分隊シテ一隊ハ荷物陸揚ニ一隊ハ救護所開設場所搜查ニ著手セリ救護所設置ハ宮崎町青年團長ト會合協議ノ上同町大神宮社地域内ニ「バラック」建造方交渉纏リ直チニ救護所開設ト同時ニ同團長案内ノ下ニ第一回往診ヲ速行シ一方ハ救護所内ニ於テ外來患者ノ診療ニ從事シタリ其ノ間鈴木技手ハ各罹災者間ヲ巡回シ神宮社地域内ニ福井縣救護所開設ノ旨ヲ宣傳シ傍ラ診療投薬ニ努メタリ而シテ一應ノ救護業務終リ同月十八日歸縣シタリ其延治療人員五百八十二名ナリ

第三班従事者

港務醫官	關根辰之助	同	湯川 福壽
衛生技手	鈴木 辰藏	看護婦	岡部 ふみ

看護婦	片板 とみ	同	土屋みすい
同	藤野 藤尾	外人夫	三名

十、震災地在住ノ縣人救護

本縣ハ曩ニ救護班ヲ派遣シ震災地ノ傷病者ノ救護ヲ爲スト共ニ物資ヲ輸送シ之レカ配給ヲ完全ナラシムルカ爲職員ヲ派遣シ一般罹災者救護ニ努力シタルモ災害地ハ混雜其ノ極ニ達シ物資ノ配給充分ナラサルヲ感シ本縣出身者ヲ此際特別ニ救護スヘキ目的ヲ以テ九月十三日理事官小田鐵次郎ヲ先頭ニ續テ九月十七日內務部長岩井正次郎、屬小野田重信、屬八田繁雄ノ四名ハ救護材料及救護所宣傳ビラ等ヲ携帶シ同地ニ急行シ東京市小石川區金富町輔仁會内ニ福井縣救護事務所ヲ開設シ、九月十九日ヨリ連日自動車ヲ以テ補仁會ノ學生等ノ應援ヲ得テ「福井縣人罹災者ハ來レ」ノ宣傳ビラヲ各地ニ揭示シ福井縣ヨリ救護ニ來レル旨ヲ一般罹災者ニ周知シタリ然ルニ即日ヨリ多數ノ縣人罹災者事務所ニ來ルヲ以テ大体事務所ニ於テハ第一部罹災者救助第二部人事相談職業紹介第三部宣傳第四部物資ノ配給第五部會計ノ五班ニ別テ物資配給ニ付テハ曩ニ芝浦横濱地方ニ派遣ノ池口技手、塚田技手、田端驛ニ派遣ノ西警部、三上、水波ノ兩警部補、今立縣書記ノ六名ヲシテ之ニ當ラシメ東京、横濱ニ於ケル物資配給ノ完全ヲ期セシメタリ罹災者救助、人事相談、宣傳等ニハ岩井內務部長、小野田屬、會計ニ八田屬之ヲ擔當シ全力ヲ注キ活動シタルモ更ニ職員ヲ要シ九月二十三日警視荒木義夫、屬酒井利一、屬林定紀ノ三名ニ自動車運轉手田中傳ヲ加ヘ事務所ニ急行セシメタリ而シテ小田理事官ハ同月十九日岩井內務部長、西警部、三上、水波ノ兩警部、池口產米技手、今立縣書記一行ハ同月二十七日歸廳シタルヲ以テ第一部罹災者救助、人事相談職業紹介等ノ事務ハ小野田屬、酒井屬、物資輸送事務ハ林屬、塚田技手之ニ任リ連日大活動ヲ續ケタリ斯クテ東京市ニ於ケル罹災者ノ救助ハ相當努力スルコト得タルモ横濱市ニ於ケル罹災者ノ救助ハ充分ナラサルヲ以テ更ニ横濱市ニ物

資ヲ携行之レカ救助ニ當ルコトニ決定シ九月二十九日属松村安吉、縣書記川端勇吉、警部補杉本清、雇佐々木椋ノ四名ヲ派遣シ尙ホ當時本縣ヨリ警察官講習所ニ派遣サレタル警部補以井利作、永田彦一郎ノ二名ヲ臨時ニ救護事務ニ從事セシメ東京市、横濱市ノ二箇所ニ事務所ヲ開設シ罹災者救助ニ從事シタリ横濱市ニ於テハ大江橋詰ノ空地ニ臨時救護所ヲ開設神奈川縣當局ヨリ回付ノ自動車ヲ以テ宣傳ヲ爲スト共ニ物資ヲ配給シ其ノ活動日醒シキモノアリ而シテ十月二日小野田屬ノ歸廳ヲ始トシテ漸次事務所ノ整理ヲ遂ク十月七日荒木警視、八田、林、酒井ノ三縣屬歸廳シ十月八日松村屬、杉本警部補、川端縣書記、佐々木雇歸廳シ罹災者救助ノ完了ヲ期シタリ

殊ニ罹災地ニ於ケル兒童ノ救濟ニ付テハ九月二十六日視學福士繁吉衣類一萬數千枚ヲ携行文部省ト打合ノ上寄贈ノ手續ヲ探リ更ニ理事官東根四郎ハ十月十五日東京罹災兒童救濟ノ打合ヲ爲スト共ニ震災地ニ於ケル教育施設ノ視察ヲ爲サシメタリ尙ホ一般縣民ヨリ義捐ノ物品ハ參集シテ山ヲ爲スカ如キ狀況ナルヲ以テ十月十九日理事官橋爪精一ヲ上京セシメ震災救護事務局ト打合ヲ遂ケタリ更ニ今後ニ於ケル救濟施設ノ打合及震災地視察トシテ十月十九日白岩川知事ハ和出屬及土木工手石川外木ヲ隨ヒ上京シ詳細政府當局ト打合ヲ遂ケ罹災者救助ノ完全ヲ期シタリ東京、横濱兩市ニ於ケル救護ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

- 一 東京市
 - 救護件數 二、〇七六件 人員 九、二五四人
 - 救護物資
 - 現金 三六九圓七〇〇
 - 白米 二一石五〇〇
 - 衣類 三、二四六點
 - 其他 九、六八〇點
- 二 横濱市

救護件數 七二〇件 人員 二、七六七人
 救護物資 白米 一〇石 衣類 一、五八二點 其他 一、四六一點

合計件數 二、七九六件 人員 一二、〇二一人

震災地救護事務從事者

內務部長	岩井正次郎	技手	池口 武彦
理事官	小田鐵次郎	同	塚田 茂
同	橋爪 精一	警部補	三上瀧之輔
同	東根 四郎	同	杉本 清
警視	荒木 義夫	同	水波 隆
視學	福士 繁吉	同	坂井 利作
屬	小野田重信	同	永田彦一郎
同	八田 繁雄	縣書記	川端 勇吉
同	松村 安吉	同	今立 昌雄
同	林 定紀	雇	佐々木 稔
同	酒井 利一	土木工手	古川 外末
警部	西 雅雄	自動車運轉手	田中 傳

十一、縣内避難者ニ對スル施設

震災當時多數ノ避難者縣内各驛ニ晝夜連續到着スルヲ以テ之等ノ避難者ヲ各驛ニ於テ接待スルコトニ

決定シ井上社會教育主事ヲ隣縣及縣内各驛ノ狀況ヲ視察セシムルト共ニ左ノ通牒ヲ發シ避難者ノ救濟ニ努メタリ

社丙第一六五號

大正十二年九月六日

福井縣內務部長

福井縣警察部長

各郡市長殿

各警察官署長殿

東京地方罹災者取扱ニ關スル件依命通牒

東京地方災害罹災者ニシテ歸郷スルモノ多數有之候ニ付テハ之等罹災者ノ救護ニ關シテハ郡市、警察當局共ニ協議ヲ遂ケ在郷軍人會、青年團等ト協力シ必要ニ應シ各驛ニ臨時救護所ヲ設ケ湯茶辨當ノ給與、傷病者ノ治療、宿泊等萬事救護スルコトニ致度候條既ニ施設ノ向キハ救護上遺憾ナキヲ期セラレ度施設ナキ向ニシテ必要アリト認ムル場合ニ於テハ速ニ實施相成可筈尙ホ右救護ニ要スル諸經費ハ務メテ公私團體其他特志者ノ義俠ニ待ツコトニ致度候モ特ニ之等負擔出來難キ向キニ對シテハ當方ヨリ支辨スルコトニ致候條費用計算書相添へ御請求相成度依命此段及通牒候也

追テ傷病者其他親族等無之者或ハ旅費ナキ者ニシテ歸郷出來難キ者ニ對シテハ警察官署ヨリ相當ノ實費ヲ給與スルコトニ致度此ノ場合ノ費用ハ前文ニ依リ御請求相成度

而シテ福井市ヲ始メ縣下各驛ニ於テハ避難者接待所ヲ設ケ連日多數避難シタル者ヲ救助シタリ

一 各驛ニ於ケル狀況

福井市ヲ始メ縣下各驛ニ於テハ九月四日ヨリ臨時各驛前ニ天幕ヲ張り罹災者ノ接待所ヲ設ケ之ニ縣郡市町村當局及其他ノ在郷軍人團員、青年團員、愛國婦人會員其他僧侶等連日晝夜更代ニテ接待所ニ詰メ上下

各列車毎ニ下車スル多數ノ避難者及本縣ヲ通過スル避難者ニ對シ辨當、パン、湯茶、衣類其他日用品ヲ給與シ慰問救護ニ努メタリ特ニ病患者ニ對シテハ縣ヨリ醫師及職員ヲ特派シ其地ノ醫師等ノ應援ヲ得テ應急ノ治療ヲ施シ遠距離ノ者ニ對シテハ車馬ノ周旋及宿泊救護ヲ爲シ何レモ無事ニ歸郷セシメタリ

二 歸郷者職業紹介

前述ノ如キ多數ノ避難者ニ於テハ失業シタルモノ大部分ニシテ之等歸郷者ノ職業紹介ニ努力スルコトトシ縣市、職業紹介所協議ヲ遂ケ失業者救濟ノ宣傳ビラヲ各戸ニ配付スルト共ニ其地方地方ニ於テ相當努力セシムル爲左ノ通牒ヲ發シタリ

社丙第一六八號

大正十二年九月十三日

福井縣內務部長

福井縣警察部長

各郡市長殿

各警察官署長殿

東京地方災害罹災歸郷者職業紹介ニ關スル件依命通牒

這頃ノ東京地方ノ震災ハ稀有ノ災害ニシテ之等罹災者救助ニ關シテハ既ニ各位ノ御配慮ヲ煩シ居候處右罹災者中地方ニ避難スル者又ハ歸郷スル者多數ニシテ差當リ其ノ親族知己等ニ頼ルト雖モ殆ント一時的ノモノニシテ爾後ノ自活ニ就テハ職業ヲ求ムル者多數有之之等ニ對シテハ福井職業紹介所ニ於テ極力斡旋ニ努力致居候モ一時ニ多數ノ求職者ヲ出シタル爲メ之レカ就職ノ緩和ヲ圖ルコトハ誠ニ困難ノ状態ニ有之候ニ付キ右罹災者救助ニ關シテハ既ニ國民其存共榮ノ大義ニ則リ同ヲ舉ケテ之レカ救濟ニ努力致居ル秋ニ有之候條此際地方へ避難シタル者又ハ歸郷シタル者等ノ就職ニ關シテハ郡市町村、警察當局共ニ聯絡提携ノ官公署ヲ始メ會社、工場、商店等ト良ク懇談ヲ遂ケ同胞互助ノ精神ニ基キ就職ノ斡旋ヲ圖リ罹災者ノ生活安

定ヲ圖ルコトニ一般ノ御盡力相成度尙ホ農村ニ歸郷シタル者ニ在リテハ此際農村ニ居住セシメ農業ニ從事セシメラルル様特ニ御配慮相成度

追テ一時歸郷者ニシテ關西地方其他へ出稼セントスル者ニ對シテハ旅費ノ調達等相當便宜ヲ與ヘラレ度尙ホ歸郷者ニシテ親族知已等貧困ノ爲メ一時的救助出來サル者ニ對シテハ此際應急ノ救助ニ努メラル

ニルト共ニ其ノ狀況御報告相成度
次テ郡市町村其他警察官署ニ於テハ之等失業者ヲ就職或ハ歸農セシムヘク努力シ縣廳其他ニ於テ就職セシメタル者百二十六名ニ及ヒタリ

更ニ震災地ニ於ケル失業者救済ニ關シテハ極力求人開拓ノ途ヲ講スヘク各種事業主又ハ商店等ト懇談ヲ遂ケタル結果、土木事業ニ従事スヘキ勞働者ヲ始メトシテ機業職工、商店員、女中等九百二十四名ヲ本縣ニ採用スヘク中央職業紹介事務局ニ向ケ申込ミタリ

(三) 救助金交付

前述ノ如ク避難者ニ對シテハ慰問救助ヲ爲シタルモ更ニ罹災者中本縣内ニ歸郷シタル者ニ對シテハ救助金ヲ交付スルコトニ爲リ總額一萬九千八百五十七圓ヲ人員九千七百二十六人ニ給與シタリ其ノ給與方法ハ歸郷者一人ニ付金壹圓宛ヲ給與シ但シ他ノ殘額ハ各歸郷者ノ貧富ノ程度ヲ斟酌シ適宜追給スルコトトシ十月十六日郡市長ニ通牒ヲ發シ夫々交付シタリ其ノ人員金額ノ郡市別左表ノ通

郡市	救助人員	金額	郡市	救助人員	金額
福井市	一、一九五	二、八九五	南條郡	一、二一三	二、六七九
足羽郡	五三一	一、三四一	敦賀郡	二〇七	六二一
吉田郡	七三八	二、七三一	三方郡	七二	二一六

郡市別	救助人員	金額	郡市別	救助人員	金額
坂井郡	一、八五三	三、三〇六	遠敷郡	二二三	六七八
大野郡	一、四七八	二、九一九	大飯郡	二六	七八
今立郡	七五七	二、一二四	計	九、七二六	一九、八五七
丹生郡	四二三	一、二六九			

(四) 縣内避難者數調

(大正十二年十月末日現在)

郡市別	避難者數	郡市別	避難者數
足羽郡	五三一人	丹生郡	四二三
吉田郡	七三八	南條郡	一、二一三
坂井郡	一、八五三	敦賀郡	二〇七
大野郡	一、四七八	三方郡	七二
今立郡	七五七	遠敷郡	二二三
		大飯郡	二六
		福井市	一、一九五
		計	九、七二六

避難者救護事務従事者

官房	屬	姓名	地方課	屬	姓名
縣書記	廣瀨千代松	宮川仁左衛門	野路與兵衛	同	
同	柴田新龍	同	丹羽淑	同	
同	三崎玉三	同	馬場勇七	同	
同	小竹教正	同	岡松生	同	
同	森本元治郎	同	高谷彌三右衛門	同	
同	真柄宇右衛門	同	岡部高	同	
			坂下寛		

土木課
縣書記 林 定
土木書記 高村 信永
同 早瀬 徳一

技手 湯淺 毅
土木書記 平本仙之助
道路技手 高森 忠次
道路書記 青柳 亨

土木工手 林 久兵衛
同 加藤 久
同 稻葉 辰雄

同 東郷 廣
建築助手 吉川 實憲
建築技手 池田 秀次

同 安本喜一郎
同 福士 繁吉
同 坂井 慶造

同 三溝 柴朗
同 本莊 杉藏
同 伊藤 美雄
同 東郷周一郎

同 森 喜己
同 竹内 繁雄
同 田中 三郎

社會課 教育主事 井上寅之助
屬 酒井 利一
社會改良主事補 福岡新兵衛

會計課 屬 加藤 佳一
同 鷹尾 雄孝
同 橋本 榮藏

同 北川 正一
同 坪川 三郎
同 都鄙 繁

同 縣書記 藤本丈左衛門
同 川端 勇吉
同 佐野西左衛門

同 細田 政太
同 遠山 萬里
同 坂本貴次郎

同 安川 島藏
同 田邊 茂

工場課 屬 百木 長治
同 井上 憲

同 南 長作
同 橋本藤太郎
同 新井三樹男

同 森田 庫太
同 松島太一郎
同 富士 定一

警務課 警部補 三上龍之輔
巡查部長 藤田嘉次松

同 巡查 竹内六之丞
同 田中 三作
同 衛生課 技師 綠川 門彌

同 警部 關 市太郎
同 警部補 杉本 清

巡查部長 藤井 博
巡查 上出 傳

同 防疫醫 久保田龜鶴
同 衛生技手 横井 眞

同 近藤 九一
同 山路 政一
同 關戸辰次郎

同 西野 顯
同 防疫監吏 朝松與三郎
同 飯田 隆英

同 衛生主事補 藤田菊太郎
同 伊藤 保治
同 清水 直之

同 衛生助手 岩見仁三郎

十二、其他一般救援事務及警備

一般救援事務ノ迅速ヲ圖ル爲震災當時ヨリ震災地ノ情報及其他各地ノ救援施設狀況ヲ知悉セントスルモ當時運輸交通ノ機關共ニ支障アルヲ以テ九月三日屬前田六平ヲ大阪府ニ派遣シ大阪市中心トシ關四、府縣施設計劃及大阪府ニ達シタル震災地ノ情報ヲ調査セシメ一方移動警察ヲ利用シ巡查中西保久仁、同布川

彌一ノ兩名ヲ九月一日ヨリ交代ニテ名古屋、静岡、大阪其他滋賀縣、岐阜縣、石川、富山、新潟、長野ノ各縣ヘ派遣シ震災地ノ情報ヲ知悉スルト共ニ各列車内ニ於ケル避難者ノ救護等ニ從事セシメタリ又縣内ニ於ケル情報調査ニ付テハ縣警察部高等課ヲシテ之ニ當ラシメ救援事務ノ敏捷ヲ期セシメタリ又物資輸送其他一般救援事務ノ迅速ヲ圖ル爲長野縣主催ノ富山、石川、福井四縣ノ救援事務打合會ニ内務部長岩井正次郎、屬水間尹夫ヲ九月八日長野市ニ派遣シ種々協議打合ヲ爲サシメタリ殊ニ物價ノ暴利取締ニ付テハ震災當時多數ノ物資ヲ調達シタルコトトテ物價鈞上スル者モナキニアラサルヤ懸念シ郡市長、警察官署長ニ對シ通牒ヲ發スルト共ニ管内營業者ニ對シ戒告諭示ヲ爲サシメ一般市價ノ暴騰ヲ抑制セシメタリ又震災當時傳ハリシ流言蜚語ノ取締ニ付テハ警察官署ヲシテ管下各停車場内外ノ取締ヲ爲サシムルト共ニ一般人ニ對シテハ講演又ハ宣傳ビラヲ印刷配布シ或ハ市町村長、在郷軍人團長、青年團長、小學校長等其他各種ノ團體首腦者ニ懇談依頼シ之等流言浮説ノ根據ナキコトヲ諭示セシメ治安維持ニ努メタリ更ニ震災當時親族知己ノ安否ヲ氣遣ヒ上京セントスルモノ多數アリ之等ニ對シテハ震災地ニ於テ食糧缺乏其ノ他混亂ノ狀態ナルカ故ニ災害地ニ於ケル情勢ヲ一般ニ周知セシムルト共ニ地方氏各自ノ自制ヲ促シ之レカ取締ノ徹底ヲ期シタリ其他一般ノ警備ニ付テハ當時地方ニ避難シ來ル者或ハ上京セントスル者多數ニシテ各停車場内外ノ難踏最モ甚タシキヲ以テ九月三日以降各警察官署ヲシテ制服、私服ノ警備巡查ヲ多數派遣シ一面各驛長ト協議ヲ逐ケ避難者歸來狀況其他交通狀況等ヲ知悉シ避難者ニ對シ適宜ノ保護ヲ爲サシメタリ列車内ニ於ケル警備ニ付テハ移動警察ヲシテ之レカ取締ヲ爲サシムルハ勿論更ニ所轄運輸事務所ト協商ノ上管下主要驛ヲ管轄スル福井、三國、鯖江、武生、敦賀ノ各警察官署ヨリ十二名ノ制服巡查ヲ選定シ之ヲ各列車毎ニ乗込メシメ本縣ヲ中心トシテ滋賀縣米原驛ヨリ石川縣大聖寺驛間ヲ擔當セシメ列車内ニ於ケル流言蜚語ノ取締及鮮人ノ取締ヲ爲サシムルト共ニ避難者ノ保護ヲ圖ラシメタリ其他鮮人ニ對シテモ適宜ノ保護施設ヲ講セシメ彼等ヲシテ安ンシテ自己ノ業務ニ服セシムルコトヲ得タリ

次テ罹災者救助ノ資料トシテ十一月十五日現在ニ依リ本縣ニ避難セル罹災者ノ調査ヲ施行シ屬酒井利一ヲ調査主任ニ命シ十月十九、二十日ノ兩日縣廳ニ郡市社會事業主任者ヲ召集シ調査施行上ニ付キ種々協議打合ヲ遂ケ更ニ郡ニ於テハ町村長ヲ召集シ之レカ協議ヲ爲シ市町村ニ於テハ調査員ヲ任命シ調査ヲ施行シタリ其ノ結果左表ノ如シ

避難者總數	六八〇	總計	五、二九四人
世帯數	二三四人	失職者	一、〇七三人
死亡行衛不明者數	二三四人		
現存者數	五、〇六〇人		

其他救援事務從事者

內務部長	岩井正次郎	巡查部長	牧市藏
屬	前田 六平	同	橋本定治郎
屬	水間 尹夫	同	中西保久仁
屬	酒井 利一	巡查	布川 彌一
警部	坂本貴治郎	同	橋本 士也
警部補	佐々木數磨	屬	島田 長榮

十三、郡市及警察救援狀況

一) 福井市

東京地方震災ノ報傳ハルヤ、福井市ニ於テハ九月三日市會ヲ召集シ金壹萬圓ヲ震災地ヘ寄贈スルコトヲ決議シ直チニ其ノ手續ヲ採リ更ニ福井警察署ト協議ヲ遂ケ義捐金品ノ募集ヲ爲シ其ノ義捐金額參萬九千九

百九拾壹圓七拾壹錢義捐品換價壹萬五千八百九拾四圓九拾七錢合計五萬五千八百八拾六圓六拾八錢ヲ算シ
 タリ更ニ市ニ於テハ震災後ヨリ地方ヘ避難シ來ル者多數アリ之等ヲ慰問救濟セントシ縣社會課ト協議ヲ遂
 ケ九月四日夜ヨリ石川社會課長以下吏員數名ヲ福井驛ニ派遣シ福井驛長ト協議ヲ遂ケ驛前ニ臨時天幕張ノ
 救護所ヲ設ケ晝夜吏員交代同所ニ詰切リ上下各列車ヨリ多數ノ避難者下車スルニ對シ救護所ニ於テ湯茶、
 辨當、衣類其他日用品ヲ給與シ慰問救助ニ努メタリ殊ニ福井市在郷軍人聯合分會ニ於テハ松尾大佐指揮ノ
 下ニ各分會一日六名宛ニ勤務シ青年團ニ於テハ岡本會長指揮ノ下ニ各分會一日六名宛晝夜交代勤務ヲ爲シ
 救護ニ努力シタリ更ニ福井市醫師會ニ於テ縣衛生課、市衛生課ト合同シ醫師ヲ特派シ傷病者ノ救護ニ從事
 シ愛國婦人會福井支部ニ於テモ又會員交代勤務シタリ其救護人員及救護品左ノ如シ

一 救護人員

通過者 一七、五五三人

下車人 三、九〇〇人

計 二二、四五三人

二 宿泊救護人員 三三七人

三 給與金價格 金貳千八百九拾圓貳拾七錢

其他失業者ノ救濟ニ關シテハ福井市職業紹介所ヲシテ縣市當局ト協議シ即日宣傳ビラヲ各戸ニ配付シ求
 人口ノ開拓ヲ爲スト共ニ職員ヲシテ各銀行、會社、商店等各事業主ヲ訪問懇談セシメタル結果震災失業者六
 十四名ヲ採用セシメタリ尙福井警察署ニ於テハ九月二日ヨリ警察官六名ヲ驛ニ配置シ避難者ノ調査ヲ爲ス
 ト共ニ朝鮮人ノ救護、傷病罹病者ノ救助等ニ努力シタリ殊ニ縣ニ於テハ醫師會ト交渉シ九月十一日ヨリ向
 フ三ヶ月間避難者罹病者ニ對シ半額治療ニ應スルコトニ協定シタリ而テ救護事務ニ從事者ノ氏名左ノ如シ

一 福井市

- 市長 武内 徹
 市役 野村外來雄
 社會課 主事 石川 義波
 書記 原 喜代松

- | | | | | | |
|-----|--------|-----|-----|---|--------|
| 同 | 東又龜次郎 | 同 | 看護婦 | 同 | 牧野捨三郎 |
| 同 | 前田 義雄 | 兵事課 | 書記 | 同 | 竹内 よね |
| 同 | 小栗八兵衛 | 同 | 同 | 同 | 竹内 清吉 |
| 同 | 久米田文次郎 | 同 | 同 | 同 | 山岡 覺二 |
| 同 | 遠見 誠 | 同 | 同 | 同 | 吉田 一 |
| 同 | 藤棚 靈慶 | 同 | 同 | 同 | 小林 一郎 |
| 同 | 林 正雄 | 同 | 同 | 同 | 土川 豊 |
| 同 | 前川 庵 | 同 | 同 | 同 | 野村初太郎 |
| 同 | 喜多島 懋 | 同 | 同 | 同 | 岩永 惠 |
| 同 | 村山 一馬 | 同 | 同 | 同 | 渡邊 敏行 |
| 同 | 鎌田 杉治 | 同 | 同 | 同 | 清水 卓二 |
| 同 | 青木 仙松 | 同 | 同 | 同 | 岡本 善吉 |
| 同 | 澤田 幸雄 | 同 | 同 | 同 | 田中與志雄 |
| 同 | 菅村 菊松 | 同 | 同 | 同 | 伊藤善右衛門 |
| 同 | 小泉他家雄 | 同 | 同 | 同 | 堀 復太郎 |
| 同 | 馬來田善光 | 同 | 同 | 同 | 蘆田 三松 |
| 同 | 前原 末松 | 同 | 同 | 同 | 大橋 傳 |
| 同 | 福原 庵 | 同 | 同 | 同 | 宮崎喜久太 |
| 同 | 辻岡 嶮 | 同 | 同 | 同 | 末本才五郎 |
| 同 | 淺田 勝次 | 同 | 同 | 同 | 岡本松二郎 |
| 衛生課 | 技師 | 稅務課 | 書記 | | |
| 同 | 同 | 會計課 | 書記 | | |
| 同 | 同 | 會籍課 | 書記 | | |
| 同 | 同 | 兵事課 | 書記 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | | |

巡査	田川 巧	巡査	坂本 與作
同	矢野 利光	同	關 雷三
同	宮田 與治郎	同	鈴木 秀二
同	織田 淡五郎	同	小林 寛
同	高島 杉太郎	同	岡本 巖
同	水上 駒作	同	古川 鐵也
同	吉田 精太郎	同	中垣内 繁
同	松本 長松	同	鈴村 定一
同	山本 幸太	同	仙田 義雄
同	小路 重次郎	同	村中 一
同	増田 源淵	同	松尾 竜吉

本部ニ於テハ郡役所内ニ救援事務ヲ開始シ庶務(募金、募品其他)物品取扱、會計ノ三部ヲ設ケ救援事務ヲ採ルコトニ決定シ警察當局ト協議ヲ遂ケ九月五日臨時村長會小學校長會ヲ郡衙ニ招集シ此際義捐金募集ノコトニ滿場一致ヲ以テ可決シ義捐金六千貳拾六圓六拾錢義捐物品五千八百七拾八圓五拾錢合計壹萬壹千九百五圓拾錢ニ達シタリ殊ニ小學校兒童ニ於テハ各々應分ニ義捐ヲ爲シ食パン三萬三千五百人分(約二千包)及學用品(千二百袋)ヲ調達シ十八梱包トシ震災地ニ輸送シタリ其他大土呂驛ニ於テハ九月七日ヨリ同十五日迄驛前ニ臨時救護所ヲ設ケ郡ヨリ吏員ヲ派遣シ附近下文殊、麻生津、上文殊ノ三村ヨリ在郷軍人會、青年團員ノ出動ヲ促シ避難者ニ湯茶、辨當ヲ給與慰問シタリ殊ニ鯖江聯隊區管内在郷軍人二百名ヲ一隊トセル救援隊派遣ニ付テハ本部ヨリ二十四名參加糧食十日分携帶九月十二日出發震災地救援事務ニ從事

シ同月二十一日歸廳シタリ

救援事務従事者

一 足 羽 郡	足羽郡長	北野權左衛門	巡査部長	荒井作太郎
	郡書記	稲木 繁	同	小川仙十郎
	同	淺野孝佐久	同	渡邊 助七
	同	定 豊 策	巡査	寺郷多一郎
	同	田中 九平	同	小林 甚松
	同	前田新太郎	同	北倉 武作
	同	黒瀬旗治郎	同	北山 金作
	同	福田 美善	同	日置 乘嘉
	同	竹内 敏雄	同	小南 兵重
	郡視學	松崎 強造	同	本多 一衛
	雇	帆谷はつ子	同	熊田 博
	同	山崎作治郎	同	長谷部富太郎
	同	小林 與八	同	竹内 菊壽

本郡ニ於テハ九月五日(急)臨時村長會ヲ郡衙ニ招集シ義捐金募集ノコトヲ協議シ警察署ニ於テハ同日管下駐在巡査ヲ招集シ村當局ト協議シ應分ノ義捐金備出方勸誘スルコトニ協定シ郡警察共ニ職員ヲ管内ニ派遣義

捐金募集ニ應援シタル結果義捐金八千百貳拾參圓拾八錢義捐物品參千七百參拾五圓五拾貳錢合計壹萬壹千八百五拾八圓七拾錢ノ成績ヲ收メタリ更ニ郡役所、警察署協議ヲ遂ケ九月四日ヨリ森田驛及越前電鐵新福井驛、松岡驛、永平寺驛ニ臨時救護所ヲ設ケ共ニ吏員ヲ派遣シ在郷軍人團員、青年團員、消防組員等ノ出勤ヲ得テ避難者ニ牛乳、茶、パンノ給與或ハ手荷物ノ運搬等ヲ爲シ慰問ニ努メ傷病者ニ在リテハ附近醫師ニ交渉無料治療ヲ爲サシメタリ其ノ人員三百十二名ニ及ヘリ

救援事務従事者

一 吉田郡

吉田郡長 木村米次郎
 郡書記 齊藤六兵衛
 郡視學 前田爲三郎
 郡書記 古吉九左衛門
 同 橋本藤之助
 同 高島 外夫
 同 栗田 捨吉
 同 居村 久信
 同 宮浦 梶馬
 同 南部喜代松
 同 杉本名左衛門
 同 齊藤 慶藏
 同 大久保與三郎

二 松岡警察分署

警部 畑 初吉
 巡查部長 好川 梅吉
 同 早苗 實
 巡查 永松玉五郎
 同 瀧川 万助
 同 野村 爲次
 同 高原庄太夫
 同 荻野 確
 同 小島 千吉
 同 水野 傳藏
 同 岩坂治三郎
 同 前田 和吉

(四) 坂井郡

同 山本 乙吉
 同 竹澤伊三郎
 同 宮本三之丞
 同 松本與三郎

同 墨川 豊
 同 吉村 豊
 同 三崎 庄作

郡本郡ニ於テハ大地震災ノ報傳ハルト共ニ本月三日三國町内ニ於ケル各種団体長ヲ召致シ義捐方法ヲ協議シタルニ各種佛教婦人會、處女會、愛國婦人會ニ於テハ衣類、在郷軍人會、青年團ニ於テハ各戸ニ付白米一升宛ヲ蒐集義捐スルコトニ協定シ之ヲ郡内一齊ニ同一歩調ヲ以テ勸誘スヘク四日早朝ヨリ郡吏員ヲ各町村ニ出張セシメ之レカ勸誘ヲ爲スト共ニ九月六日町村長ヲ郡衙ニ召集シ此際相當ノ義捐金ヲ融出スルコトニ協定シ其ノ金額義捐金貳萬參千五百參圓五拾七錢物品金參萬六千六百貳圓六拾四錢合計金六萬六千六百貳拾壹錢ノ成績ヲ收メタリ其他三國、丸岡兩警察署長ト協議シ物價約上ノ警告ヲ爲シ更ニ三國、芦原、金津、細呂木、丸岡ノ五驛ニ於テハ郡町村及警察官其他青年團、處女會、軍人會、婦人會員出勤シ連日通過スル避難者及歸郷スル避難者ニ對シ衣類、雨具下駄、菓子、パン等ヲ給與シ失業者ニ對シテハ各町村方面委員ノ活動ニ依リ相當周旋ヲ爲サシメタリ殊ニ疾病者ニ對シテハ附近醫師ノ出張ヲ乞ヒ無料治療ヲ爲サシメタリ

一 坂井郡

救援事務従事者

坂井郡長 田中喜三郎
 郡書記 秋山 豊治
 同 奥 定治郎
 同 田島 保

同 藤田 儂
 同 土川與己吉
 同 見神 俊一
 同 西岡 鹿夫

三國警察署
 警部 北川 八郎
 警部補 宮越文之丞
 同 中島 豊治
 同 太田信之助
 同 坂井喜三平
 同 今川 權造
 同 高村 茂一
 同 久住乙治郎
 同 佐藤彌太郎
 同 林田 直永
 同 池上 初吉
 同 新田武之助
 同 藪 豊吉
 同 田中 春市
 同 向井 元一
 同 加納 貢
 同 光成 増市
 同 米岡佳志太郎
 同 森長謙之助

郡書記 天谷 由榜
 同 中野信太郎
 同 戸倉 英
 同 伊藤 廣
 同 清水 茂
 同 長谷川松之丞
 同 北野 義一
 同 西川善太郎
 同 島崎清治郎
 同 郡水産會書記 佐々木信二
 同 大友權左衛門
 同 田賀伍之助
 同 吉川 澤吉
 同 吉田 俊一
 同 中島 茂馬
 同 長谷部猪駒
 同 高橋吉太郎
 同 土田他啓俊

三 九岡警察分署

巡査 金崎竹次郎
 同 木村 勇
 同 若島荒太郎
 同 木戸市左衛門
 同 井澤喜之四
 同 竹島 己作
 同 淵本 貞雄
 同 徳岡惣四郎
 同 友安 清次
 同 高橋 昇
 同 堀岡政五郎
 同 中村 清一
 同 南部 直一
 同 坂本藤太郎
 同 長谷川義雄
 同 野坂 仁吉
 同 脇本彦兵衛
 同 野田善太郎
 同 林 繁一

同 三浦秀太郎
 同 橋水 通俊
 同 清水 清一
 同 神戸 金松
 同 荒井 徳
 同 平田 齊繁
 同 島屋 藤榮
 同 田中政次郎
 同 野村 正一
 同 山本 正
 同 野村 馨
 同 永田 若松
 同 北林 武雄
 同 藤田 一
 同 佐野 左近

(五) 大野郡

本郡ニ於テハ震災ノ報傳ハルヤ直チニ郡、警察當局共ニ協議ヲ遂ケ吏員ヲ町村ニ派遣シ義捐金品ノ募集ニ著手シ義捐金壹萬六千九百八拾九圓拾九錢義捐物品五千七百貳拾七圓拾壹錢合計貳萬貳千七百拾六圓貳拾六錢ノ募集ヲ得タリ更ニ九月八日ヨリ越前電氣鐵道大野三番停留場、勝山停留場ノ二箇所ニ避難者ノ救護所ヲ開設シ之ニ郡、警察兩當局ヨリ吏員出張町村吏員、軍人會、青年團、婦人會、醫師會其他僧侶等ノ應援ヲ得テ湯茶、菓子、衣類等ノ給與ヲ爲シ避難者ヲ慰問シタリ其ノ人員大野驛三百二十二人、勝山驛三百四十六人計六百六十八人ヲ算シタリ而シテ疾病者ニ在リテハ附近醫師ノ出張ヲ乞ヒ無料施療ヲ爲シタリ

救護事務従事者

一 大野郡

大野郡長	田邊豊九郎	同	安川 重雄
郡書記	牧野新太郎	郡視學	小辻千太郎
同	仲村 政	雇	野田 吉郎
同	永田美代松	同	鈴木 康博
同	竹田彌三八	同	多田 幹夫
同	島田 彦藏	同	千味 由松
同	面屋 茂	同	龍田 彌市
二 大野警察署	渡邊 淺吉	巡查部長	白崎 憲三
警部	坂本 弘	同	山口市三郎
警部補	小杉勇太郎	同	
衛生技手			

三 勝山警察分署

巡查	永山 境二	同	中村 勇松
同	寺角 藤松	同	長谷川謙太郎
同	大久保 菴	同	中島 啓助
同	小川 喜藏	同	坂井 末松
三 勝山警察分署	筑田 和吉	巡查	松本秀治郎
警部	野坂 清	同	田村 由松
警部補	白崎 齊	同	坂井 數馬
巡查部長	平鍋 世嗣	同	川端 伊吉
同	鶴林 忠	同	宮本金太郎
巡查			

(六) 今立郡

本郡ニ於テハ九月五日郡衙ニ町村長ヲ招集シ警察當局モ之ニ參加ノ上郡内ニ於ケル義捐金ノ募集方法ヲ協定シ直チニ一般ニ勸誘ヲ爲シタル結果義捐金壹萬壹千參百六圓六拾貳錢義捐物品壹萬八百貳拾九圓五拾壹錢合計貳萬貳千百參拾六圓拾參錢ノ募集ヲ得タリ更ニ鯖江、粟田部ノ兩驛ニ於テハ避難者救護所ヲ設ケ續々來ル避難者ニ對シ湯茶、辨當、衣類等ヲ給與慰問ヲ爲シタリ救護所ハ郡、警察、町村ノ當局ヲ始メ青年團、軍人團、婦人會其他僧侶等ノ應援ヲ得タリ尙ホ疾病者ノ救濟トシテ醫師ノ特派ヲ乞ヒ無料施療ヲ施シタリ

救護事務従事者

一 今立郡

今立郡長

眞目 善平

郡書記

伯 治衛

郡視學

齋藤 秀助

同

板倉 高井

郡書記

飯田 眞重

同

大上 岩雄

同

渡邊 榮

同

吉田千久吾

同

伴 宗孝

同

河端 清

同

長谷川泰藏

同

鷺田伊三郎

同

長瀬三男雄

同

大久保靜夫

同

松原 菊太

同

岩上欽之助

同

佐々木善作

同

山本 明

二 鯖江警察署

警部

野村 國松

巡査

西川 勝

警部補

小島伴三郎

同

中垣内幸吉

巡査部長

田島 清

同

西坂 數榮

同

川合金左衛門

同

門畑 長松

同

大西國太郎

同

川端金五郎

同

五十嵐繁定

同

山崎 廣

巡査

高山 純一

同

山下 清藏

同

林 一馬

同

高橋 繁廣

同

宇野 秀樹

同

山崎 勇

三 粟田部警察分署

警部

池永 一馬

同

大西 竹松

巡査部長

清水金三郎

同

野村 七郎

同

栗井 喜作

同

高島 等

同

奥山治太榮

同

坪田 繁至

同

林 徳綱

同

中村 秀久

同

村野重之丞

同

橋本 榮藏

同

西尾菊太郎

同

白崎茂兵衛

同

林 清太郎

同

南部 登

同

大谷 健吉

同

同

(七) 丹生郡

本郡ニ於テハ郡役所、警察署協力シ義捐金品ノ募集ヲ爲シタルニ義捐金壹萬七千六百四拾五圓六錢義捐

物品貳千五百五拾圓八拾八錢計金貳萬百九拾五圓九拾四錢ヲ募集シタリ

救援事務従事者

一 丹生郡

丹生郡長

三好 與七

同

水上梅太郎

郡書記

三谷 潤

同

加納茂三郎

同

河合 藤吉

同

木津清治郎

同

孝久與四郎

郡視學

山田彌三郎

同

岡山 重

郡技手

森 哲尉

二 西田中警察署

警部
警部補
巡查部長

山崎 伊平
湯屋 疇
大村 平藏
澤田 光泰
堀江 謙治
村松 亮三
藤村 岸勝
高田 衡
山品 富藏
池田 肇
北川 吉治
千羽 康吉

三 織田警察分署

警部
巡查部長

大阪 眞敬
川合金左衛門
岡本 仁平
島崎 朗
今澤音五郎
村本 彦一
仲村榮太郎
堂下 幸樂

巡查

七部 彌重
鳥野 繁朔
手島 源三
三田村 清
酒井吉三郎
坂井 小市
佐々木篤三
長谷川 象吉
野崎 爲治
福島 春吉
杉素 登

同同同同同同

宮崎 彌平
橋本 樽市
林 寅松
若栗 外男
川端 由三
稻葉 利範
岩堀淺之助

(八) 本郡ニ於テハ九月五日郡、警察當局協議ノ上同日町村長ヲ郡衙ニ招集シ義捐金品募集ニ關シ協議ヲ遂ケ

夫々職員ヲ管内ニ派遣督勵ノ結果義捐金壹萬七千八拾圓七拾六錢義捐品七千貳百五拾壹圓拾九錢合計貳萬四千參百參拾壹圓九拾五錢ノ募集ヲ爲シタリ更ニ町村當局及青年團、軍人會、婦人會其他篤志者ト協力シ九月四日ヨリ武生、鯖波、今庄ノ各驛ニ避難者救護所ヲ設ク吏員及其他ノ有志晝夜詰切リ湯茶、辨當、衣類等ヲ給與慰問ニ努メタリ尙ホ失業者ノ救濟ニ在リテハ管内事業主ト懇談ヲ遂ケ之レカ就職斡旋ニ努力シタリ殊ニ疾病者救濟ニ在リテハ附近ノ醫師ノ出張ヲ乞ヒ無料治療ヲ爲シタリ

救援事務従事者

一 南條郡

南條郡長 谷口 弘
郡視學 野村 孝齊
郡書記 横山 外
同 原田多計留

郡書記
同 郡技手

荒川 精一
三田村長次
曾我美雄馬

二 武生警察署

警部 野田 長作
警部補 岡田 秀信
巡查部長 吉田甚三郎
同 高橋 昇
巡查 大村 榮實
同 田中 孫八
同 杉本 元信
同 青山 久
同 伊藤 隆
同 皆川 政衛

同巡查
同同同同同同

久保 金藏
戸田 健治
高島 義雄
藤井辰次郎
黒田 利夫
佐々木與左衛門
川端由兵衛
竹内政次郎
加藤 善松
牧野仁之助

九) 同 大原 厚

本郡ニ於テハ九月四日郡役所ニ救援事務ヲ開始シ更ニ事務分章ヲ一、義捐金ノ募集及物品輸送事務二、
救護所事務三、徵收事務四、慰問袋并教科書募集事務五、愛國婦人會事務ノ五部ニ別レテ又救賀警察署ニ
於テハ義捐金ノ募集物品輸送、避難者ノ救護、取締等ノ事務ヲ部別シ即日各町村ニ向ツテ義捐金品ノ募集
ヲ爲シタルニ義捐金參萬四千九百四圓七拾貳錢義捐物品壹千九百六拾七圓合計參萬六千八百七拾壹圓七拾
貳錢ノ募集ヲ爲シタリ更ニ九月六日ヨリ郡、警察、町村等協議ノ上救賀驛ニ避難者ノ臨時救護所ヲ設ケ前
記職員ノ外救賀病院ヨリ醫師、看護婦其他私設團体員八人出張ノ上避難者ノ救護ニ從事シタリ殊ニ傷病者
ノ治療シタル者百十四名ノ多キヲ算ヘ通過者五千七百九十三名歸還者二百三十五名ニ對シテモ湯茶、辨當
、タオル、衣類等ヲ給與シ慰問ヲ爲シタリ

救援事務従事者

一 救賀郡

- 救賀郡長 古村貢三郎
- 郡書記 吉田 智師
- 同 長崎 春義
- 同 西岡音治郎
- 同 寺田 三觀
- 同 伊藤吉五郎
- 同 京條 義雄
- 同 森下安太郎
- 同 岸 丈太郎
- 同 長谷川彌之助
- 同 竹中 憲二
- 同 伊吹長左衛門
- 同 宇野捨次郎
- 同 増門 彦忠
- 同 梅本 孫重
- 同 郡視學 郡技手
- 同 郡書記 長谷川才一郎
- 同 牧野 義雄
- 同 伊藤喜久男
- 同 大畑 常康

二 同 教賀警察署

- 警視 田畑 のぶ
- 警部 田井 政親
- 警部補 藤本 重志
- 同 沖 貫一
- 同 藤井金之丞
- 同 清水 清志

巡查部長

- 長谷川才一郎
- 牧野 義雄
- 伊藤喜久男
- 大畑 常康

十) 三方郡

本郡ニ於テハ災害ノ報ニ接スルヤ郡、警察兩當局協議ヲ遂ケ急速郡内各村長、小學校長ノ會同ヲ求メ義
捐金品ノ募集ニ著手スルト同時ニ郡役所内ニ義捐金品ノ募集應募、救恤品ノ蒐集、同上發送ノ三部ニ別チ
吏員ヲ督勵シ救援ニ努力シタル結果、義捐金九千八百貳圓八拾九錢義捐物品六千貳百貳拾八圓五拾五錢合
計壹萬六千參拾壹圓四拾四錢ノ募集ヲ爲シタリ更ニ郡内各驛ニ避難者ノ救護所ヲ設ケ村當局及消防組、軍
人團、青年團、處女會其他地方有志出張避難者ヲ慰問シタリ更ニ疾病者救濟ノ爲救護所ヲ設ケ郡醫師會員
詰切リ無料治療ニ努メタリ

救援事務従事者

一 三方郡

- 三方郡長 田中 與作
- 郡視學 今川 嘉七
- 郡書記 田邊 久藏
- 同 辻 安太郎
- 三方警察署 山内 稻作

同

- 小堀 兵吉
- 宮元喜太郎
- 千田 專平

警部補

- 田崎外次郎

逡査部長 貫井源太郎
 同 森川勝次郎
 同 下南源三郎
 逡査 瀧本 茂
 同 山口 丈助
 同 山内 京作
 同 前川 虎吉

逡査 宮崎増太郎
 同 濱中 濱造
 同 仲井 貢
 同 中川 宗八
 同 澤田 静治
 同 吉田 耕
 同 吉田鵬太郎

十一) 遠敷郡

本郡ニ於テハ九月五日郡役所内ニ東京地方災害救済會地方委員部ヲ設ケ委員長副委員長、委員ヲ任命シ更ニ事務分擔ヲ庶務(募金、募品、其他)輸送、歸郷者救護ノ三部ニ別チ小濱警察署ト協力シ即日町村長ヲ郡衙ニ招集シ同月六日婦人會、各宗佛教聯合會等ノ幹部ノ會合ヲ求メ義捐金品募集其他救済ニ關シ協議ヲ遂ケ郡内一齊ニ募集シタルニ義捐金壹萬五千五百六拾圓六拾四錢義捐物品壹萬百參拾貳圓拾錢合計貳萬五千六百九拾貳圓七拾四錢ノ募集ヲ爲シタリ更ニ小濱町ト協議シ小濱驛ニ避難者ノ救護所ヲ設ケ避難者救護ニ從事シタリ尙ホ疾病者救済ノ爲附近醫師ノ特派ヲ乞ヒ無料施療ヲ爲シタリ

救援事務従事者

一 遠敷郡
 遠敷郡長 平田 富資
 郡視學 山田 安
 郡書記 橋本 榮藏
 同 福田庄太郎

郡書記 長谷豊治郎
 同 芝田 秀夫
 同 藤本 信一
 同 東 幸平
 同 藤本謙太郎

二 小濱警察署

警部 小川 銀藏
 警部補 吉田登喜夫
 逡査部長 時岡才十郎
 同 榎 辨藏
 同 芝田 正隆
 同 田中 鐵藏
 同 宮崎 甫吉
 同 岩端 匡二
 同 佐藤庄次郎
 同 清水 寅宇
 同 釣部末之丞
 同 三田村新吉
 警部補 橋本 久藏
 逡査 百田 實
 同 中村 純雄
 同 木村 卓美
 同 上山 茂七
 同 橋本三之助
 同 末友喜三次郎

逡査 岩崎 好雄
 同 黒川 京年
 同 田中 國盛
 同 岡本 萬藏
 同 伊東昇太郎
 同 前川 末松
 同 荒川 竹吉
 同 前田 治助
 同 山森權左衛門
 同 西本政次郎
 同 的場 岩吉
 同 高木 徳一
 同 宮下 與作
 同 藤棚 靈祐
 同 渡邊佐次郎
 同 堀口 爲藏
 同 藤原 豊
 同 吉川源太郎
 同 渡邊 福松

巡查 平野時太郎
同 林 末次

巡查 水永 安吉
同 島浦文之丞

(十二) 大飯郡

本郡ニ於テハ九月五日町村長、七日小學校長、青年團長、處女會長、在郷軍人會長等ヲ郡衙ニ招集シ義捐金品募集ニ關シ協議ヲ遂ケ即日ヨリ高濱警察署ト協力廳員ヲ管内ニ派遣シ義捐金ヲ募集シタルニ義捐金五千百六拾六圓九拾壹錢物品貳千貳百六圓九拾五錢合計七十參百七拾參圓八拾六錢ノ募集ヲ爲シタリ更ニ若狹高濱、本郷、加斗驛ニ避難者ノ救護所ヲ設ケ町村當局、青年團、軍人團、處女會員等出張避難者ニ菓子、果實等ヲ給與慰問ヲ爲シタリ

救援事務従事者

一 大飯郡

大飯郡長 岡本斧次郎
郡書記 武村龜太郎
同 小田 廣

郡視學 吉村 桂
郡書記 治面地勘藏
履 成田正之助

二 高濱警察署

警部 平岸 保明
警部補 池上五右衛門
巡查部長 吉田 龜松

巡查 高洲 潮溢
同 仲井 清治
巡查部長 明珍安太郎

福井縣

福井市城町三ノ丸五番地

印刷人 河合 仁太郎

福井市城町三ノ丸五番地

印刷所 河合活版印刷部

電話【八五七番】

大正十二年十二月二十日印刷
大正十三年二月二十日發行

終

